長尾福祉会報

令和4年10月1日
第46号

芸術の秋

のぞみ園の利用者さんの作品です

ー長尾福祉会理念ー　障害をもっていても　もっていなくても　男も女も
「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる
社会づくりをめざします。

ご あ い さ つ　～これからのサービスの在り方について～

新型コロナウイルス感染症の影響で思うことがあります。それはご利用者にとって本当に必要とされるサービスだったのかそうではなかったのかということです。

介護事業所では、今までは通所系サービスを利用しながら介護疲れの予防やご家族に予定があるときに入居系サービスを利用するというケースが主だったように思われますが、新型コロナがまん延してからは、通所系サービスや訪問系サービスを使わずに入居系サービスを直接利用される方が増えています。

原因はいろいろあり、第一にはコロナ感染への警戒心かと思いますが、デイサービスの送迎時間に家族が送り出しに付き添えないという状況も増えてきています。また、ロシアに端を発した西欧諸国はもとより世界的な政治不安と物価高が家計を直撃しており、それが利用抑制につながっていることも現実です。

介護施設もついこの間までは待機者が多い時期がありましたが、今では定員に満たない施設も増えてきています。保育関係でも待機児童問題もほぼ解消され、これからは保護者から信頼され支持されないと定員を満たすことも難しくなる園も増えてくると思います。

そこで、「私達は必要なサービスを提供できているのか、見過ごしていることはないのか」など、このような大変な時期であるからこそ、検証し変革していく必要があると考えます。

利用者の皆様にもご意見を今まで以上にお伺いできればと思います。どうぞよろしくお願いします。

社会福祉法人長尾福祉会　理事長　**森田　浩之**

社会福祉法人は、「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、社会福祉事業の安定的・継続的経営に務めるとともに、多様な生活課題や福祉需要に柔軟かつ主体的に取り組む公共的・公益的かつ信頼性の高い法人です。

のぞみ園

男子寮

バス外出

生活支援員　山石　久

6月17日にバス外出へ行きました。森上屋にてどら焼きを購入し、橘ノ丘総合運動公園で食べた後、散策し帰園しました。久しぶりの外出ということもあり、ドライブ中は外の景色を楽しんだり、公園の遊具で遊んだりと、皆さん楽しまれていました。

女子寮

笑顔がいっぱい、お誕生日会！

生活支援員　七條　麻紀

女子寮では利用者さんの誕生日月にみんなでお祝いをします。まず最初にお誕生日の利用者さんに向けて全員で歌を歌います。お誕生日の利用者さんは、みんなからの「おめでとう」の言葉に、にっこりされていました。

次にお誕生日会ではレクリエーションを行います。今回は輪投げと的当てを行いました。みなさん真剣にゲームにチャレンジされていました。楽しい雰囲気の中でお誕生日をお祝いすることが出来ました。

南寮

今年も育てます！

生活支援員　間島　義博

昨年と同じく今年も南寮では夏野菜を育てています。ナスにトマト、キュウリと昨年のような豊作を期待しています。今年はスイカとメロンも育てています。大きく育ってみんなで食べられる日を楽しみにしています。

他にもヒマワリを植えています。きれいな花が咲いて寮内を明るく、華やかにしてくれるでしょう。これからもみんなで水やりをしてお世話していきます。

通所

端材から作品に……

生活指導員　松川　美千代

通所棟の利用者さんは、素晴らしい発想力を持っている方ばかりです。作品展に向けてはもちろん、日々の活動の中でも絵を描いたり、立体作品を作ったりと個性豊かな作品が出来上がっています。身の回りの端材が作品に仕上がる光景は目を見張るばかりで、いつも感動させられています。

児童デイサービス

フルーツかき氷を作ったよ

児童指導員　福谷　桜子

児童デイでは、季節の行事や終日利用日のグループ活動で制作を行っています。制作活動を楽しみにしている子どもも多く、一人でコツコツと取り組んだり、みんなで協力しながら、作品作りに取り組んでいます。

7月には、にじみ絵の技法でかき氷の作品を作りました。氷に見立てたティッシュの上に垂らした色水がジワッと広がっていく様子を楽しみながら、どんどん手を動かす子どもたち。「ぶどう味がいいな」と、紫の色水を選んだり、複数の色水を使ってグラデーションにしてみたり、子どもたちの発想や作品へのこだわりには驚かされるばかりです。色とりどりの個性あふれるかき氷が出来上がりました。

友達の作品を見たり「これを作ったよ」と話している子どもたちの姿を見ると、こちらもとても嬉しくなります。これからも子どもたちが楽しみながら、興味を持って取り組めるような活動を考えていきたいです。

アート作品作り

日々の活動を作品展へ

生活支援員　村尾　昌昭

南寮では、余暇活動として利用者さんごとに取り組める活動を行っています。その一部に制作活動があります。その中でも「描く」という作業に取り組む方が多く、自由に絵を描いたり、小さなマス目に色塗りをする方もおられます。作風もそれぞれで、車のカタログを見ながら正確に模写したり、同じ構図の物を色使いを変えてたくさん描く方もおられます。

今年は瀬戸内国際芸術祭が行われています。せっかくですので、利用者さんが制作したアート作品を今年度のいくつかある作品展へ応募してみたいと思います。展示が叶えば、是非作者の皆さんと一緒に見学に行きたいです。

特別養護老人ホーム
ゆたか荘

縁日の開催

介護主任　木村　寿志

夏の大型イベントである納涼夏祭りですが、コロナ流行による感染予防の為、規模を縮小して行いました。

提灯を吊り音楽が流れだすと、いつもと違う雰囲気にご利用者は何が始まるのだろうというような表情をみせておられました。初めの挨拶の後、的当て・射的・魚釣りの３種類のゲームを催し、職員と一緒にゲームを楽しみました。ゲームの最後には景品も用意しており、皆さん大変喜んでいただけました。おやつにはアイスやゼリー飲料を用意しており、普段と違う雰囲気を味わっていただけたのではないかと思います。

ご利用者の笑顔や『ありがとうで。楽しかったわ』との言葉に開催してよかったと思える瞬間でした。

七夕祭り

2階介護職員　佐々木　信也

7月7日の七夕の日は珍しく梅雨が明け晴天で迎える事が出来ました。何カ月も前よりご利用者と一緒に色合いを考えながら華やかな飾りを作って楽しみにしていました。

当日は七夕の由来を説明してから飾り付けを行いました。ご利用者に書いて頂いた短冊には『健康』や『家族に逢いたい』等、様々な願いが書かれていました。完成後、笹を立てらせると大きな歓声があがっていました。早くコロナが終息して皆様の願いが叶いますように……。

職員紹介

介護支援専門員　多田　明香

施設ケアマネとしての思い

ハーティヴィラ亀鶴から介護支援専門員としてゆたか荘へ異動してきて半年が経ちました。介護支援専門員の仕事は初めての経験で戸惑う事もありますが、たくさんの方に助けていただき、少しずつですが成長できているように感じます。

施設サービス計画書は施設の中で各専門職が行っているバラバラの支援を一つにまとめた『その人だけの介護マニュアル』と言われています。ご本人、ご家族、各専門職のそれぞれの思いがたくさん詰まった施設サービス計画書を作成し「ゆたか荘でよかった」と感じていただけるようにしていきたいと思います。

木田地区医師会附属准看護学院　看護実習

副施設長　髙村　えりこ

木田地区医師会附属准看護学院より、2日間の実習に延べ12名の生徒が実習に来られました。受け入れ時には感染対策を十分に行った上で施設の看護職員の役割や業務について学んでいただきました。実習は講義で学んだ事を実際に体験する貴重な場であり、皆さんメモを取りながら真剣に取り組まれていました。病院看護師とは違ったご利用者への向き合い方や視点について学んでいただけたと思います。また、実習生を受け入れる事で施設職員にとっても再認識できる事が多く非常に有意義な実習であったと思います。

職員紹介

機能訓練指導員　榮野　敬介

維持をめざして

5月からゆたか荘で機能訓練士として働かせて頂いています理学療法士の榮野敬介と申します。理学療法士とはケガや病気などで身体に障害のある人や障害の発生が予測される人に対して、運動療法や物理療法などを用いて基本的動作（座る、立つ、歩くなど）の回復や維持、および障害の悪化の予防を図り自立した日常生活が送れるよう支援する専門職です。以前は11年病院勤務をしておりました。

ゆたか荘のご利用者の身体能力や動作能力が維持、向上するよう機能訓練させていただきます。よろしくお願い致します。

デイサービスゆたか

今がずっと……

機能訓練指導員　艸薙　ルミ

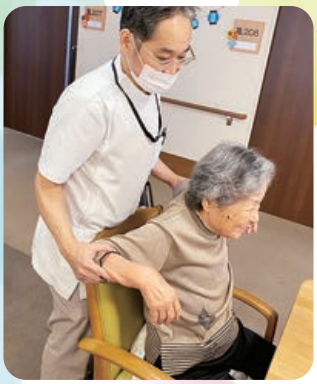
年齢による身体の衰えを嘆かれる声は多くの方から聞こえてきます。コロナ禍でより活動範囲が狭くなりがちな日々のなかで、デイサービスに通われている皆様は、理学療法士指導のもと、筋力維持・向上を目標に活動的に頑張っておられます。

「家での生活を続けたい」、「家族に迷惑をかけたくない」……等、今の生活が長く続けられることが一番の幸せであることを実感しながら衰えに抗うのではなく、受け入れながら一日、一日できることを行われています。

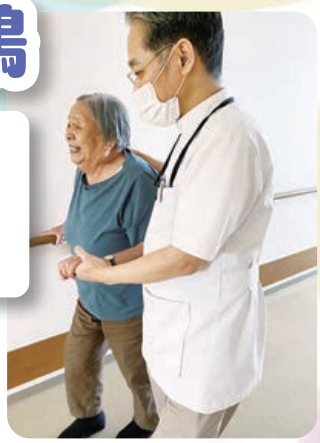
高齢者複合施設
ハーティヴィラ亀鶴

Hearty Villa KIKAKU ハーティ ヴィラ 亀鶴

ハーティヴィラ亀鶴では、ご利用者の皆さんが
「今、自分でできていることが長く続けられるように」と
心身のリハビリテーション、体操、運動を
楽しみながら頑張られています。



「背筋を伸ばしていきましょう」



「正面を向いて、その調子」
頑張る合間に笑顔がこぼれます

廊下で歩いている途中
中庭を眺めながらひと休み

頭の体操も欠かせません
「漢字の穴埋めクイズ」
やってます

「お昼ごはん、美味しかったですね」
おなかが落ち着いたら食後の体操をゆっくりと

ウォーターベッドで
リラックスタイム

「今日も調子が良さそうですね」

認定こども園 高松くりの木學舎

「安心できる環境の中での離乳食」

ひよこぐみ（0歳児） 山田 葉月

保育園に入園して、何もかもが初めてのひよこぐみの子どもたち。初めての園生活は、保護者も子どももたくさん不安があると思いますが、その不安を少しでも減らせるよう保護者と細かい様子を伝えあったり、子どもとの関わりでは、担当の保育者と1対1で十分に関わり、安心できる環境の中で過ごせるようにしています。

食事では、家庭と連携しながら、離乳食を進めています。初めての食材は家庭で食べてから、園でも食べ始めるようにしています。また、家庭での食事の様子も聞きながら、園でも同じ保育者と食べることで、子どもの様子を十分に把握し関わることができています。

最初は保育者がスプーンを口まで運ぶと「アーン」と口を開けて食べていましたが、今では自分から手を伸ばして食べたり、スプーンに興味をもち手に持って食べる姿が見られます。また、自分が食べたい物を指さして保育者に伝えようとする子もいて、1対1の時間を大切にしながら信頼関係を築いています。日々、成長が見られるひよこぐみの子どもたち。できた喜びを共感したり、保護者と共有しながら成長を見守っていきたいと思っています。

「みずってきもちいいね」

れもんぐみ（2歳児） 四宮 慶子

今年は6月初旬より、2階のベランダで水に触れる遊びを行っています。子どもたちは、水に濡れても平気で夢中になって遊んでいます。ペットボトルに入った水を「おもい～。」と言いながらせっせと運び、その水を勢いよくたらいに流し入れたり、たらいの水をくるくると手でかき混ぜ、浮かべた玩具が水流で回る様子をじっと見つめたり、カップなどの道具を利用して、別の容器に水を汲み入れたりして思い思いに水に触れています。また、保育者がシャワーから出す水に歓声を上げ、頭や顔に水がかかることを楽しむ様子も見られます。

水遊びの中でも今、特に人気なのが、「霧吹き」遊びです。小さな手のひらを目一杯広げレバーに手を添えます。新聞紙の的をめがけて、ギュッと手を握り水が飛び出る瞬間は笑顔が弾ける瞬間です。「霧吹き」は掃除道具にも、消毒にも変身します。「おそうじするの。」「しょうどくします。」保育園や家庭で経験したことが遊びになり、なりきって遊ぶ姿も多く見られました。

夏の暑い時期の水に触れる遊びを通して、「気持ちいいな。」という心地良さや、楽しさ、不思議さなど色々な感情を持つことを経験してほしいなと思っています。

「みんなで育てたピーマンはおいしいね☆」

そらぐみ（3歳児） 小西 美帆

5月にピーマンの苗を植えました。プランターの土に穴を掘り、そーっと苗を植えて土をかぶせた後、水やりをしながら「おおきくなーれ！」「おいしいピーマンができますように」と願いを込めながらたっぷり水をかけました。数日経つにつれてどんどん大きく育つ苗。園庭に出ると大きな声で、「はながさいてるよ」「ちいさいぴーまんがあったよ」などとピーマンの成長を驚いた表情で知らせてくれました。収穫時は大小様々な大きさのピーマンが実り、一人一個ずつ収穫した子どもたち。ピーマンの種取りも体験をしながら、ピーマンの形や大きさ、匂いなど手に触れてじっくりと観察する姿が見られました。ピーマンの匂いをかぎ反応は様々でしたが、収穫した喜びを感じたり、ピーマンが苦手な子どもも少し興味がわいているようでした。自分たちで収穫・種取りをしたピーマンを給食のやきそばに入れてもらいましたが、「ぴーまんおいしい！」「一つたべれたよ！」などと笑顔で給食を食べる姿が見られました。

苗植えや収穫、種取りなどの食育体験を通して少しずつ食材に興味を持ち、食べる喜びや楽しさを味わってもらいたいなと思います。

園外保育「うしおじさん」

うみぐみ（4歳児） 古澤 佳歩

バスに乗ってさぬき市の「大山牧場」に行ってきました。子どもたちにとって初めての長い距離の園外保育であり、バスの中では歌を歌ったり、クイズをして盛り上がりました。「もうすぐ着く？」「動物にエサをあげてもいいの？」と目的地が近づくにつれて、期待も膨らんでいきました。到着してすぐヤギや牛、馬を目の前に目を輝かせる子どもたち。初めは動物たちの迫力に恐る恐る葉っぱをあげていましたが、怖がらずに葉っぱをあげられるようになったり、触ってみたり、「なめられたけど痛くなかった！」「触ってみると固かった！」と目の前にいる動物たちに興味津々です。そのうち短い葉っぱよりも長い葉っぱがよく食べることに気づき、友だちを見て「僕も！」「私も！」といろいろな葉っぱを食べさせてあげる姿も見られました。またクローバーでいっぱいのやわらかい地面を走ったり、寝そべってみる子や花を摘む子もいました。牛舎の中では、牛舎ならではの独特な匂いに驚きの声も聞こえてきました。最後は念願のソフトクリーム！緑の景色の中で、友だちと一緒に今日の出来事を振り返りながら、「おいしかった！」とあっという間に食べてしまいました。自然の中で貴重な経験ができた子どもたち、様々な自然に触れながら心豊かに育ってほしいです。

認定こども園
長尾學舎

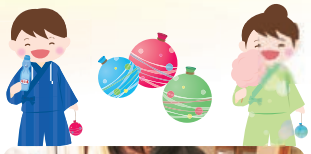
七夕・夏祭り会

ひかりぐみ（0歳児） 安松 明寿香

7月7日（木）長尾学舎内で七夕・夏祭り会を開催しました。短冊には、「○○に家族みんなで行けますように」や「○○ができるようになりますように」などと子どもたちの思いがいっぱい詰まっていました。みんなの願いが叶いますように！

また、この日に浴衣や甚平を着られることを心待ちにしていた子どもたち。当日は、友だちと見せ合いっこしたり、保育教諭に見せてくれたりする姿が見られました。

ぎんが組さんの「いらっしゃいませ～」「おいしいですよ～」と元気いっぱいのかけ声で、七夕・夏祭り会が始まりました。「いちご味のジュースください」「何味がおすすめですか?」と異年齢でのコミュニケーションを楽しみながら、大好きなお兄さん、お姉さんとの交流が嬉しい1日となりました。



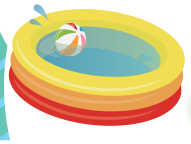
「不思議だな、感触遊び楽しいな！」

ひかりぐみ（0歳児） 橋本 由樹子

7月、色々な素材に触れてほしいと思い、寒天や小麦粉粘土、泡などで遊びました。初めて触れる物ばかりで慎重になりながらも、保育教諭と一緒に楽しむ子もいました。友だちが触っているのを見て興味を持ち、一緒に手を伸ばして遊んでみようとする姿や、楽しさを感じて笑顔を見せあう姿も見られました。

寒天遊びでは、プルプル揺れる様子を見たり、指で突いてみたり、手で握り潰したり、潰した物をカップに入れてスプーンですくってみたり、どんどん形が変わっていく中で遊びを変化させながら感触を楽しんでいました。

遊びの中で触ったり見たり感じたことを言葉や表情、仕草などで一人ひとりが自分らしくのびのびと表現できるよう、これからも子どもたちと初めての経験を一緒に楽しんでいきたいです。



「菜園活動」

つきぐみ（4歳児） 藤原 美紅

4歳児クラスに進級し、初めに年長児の友だちが夏野菜の植え付けをしているところを見学しました。「はやくたべたいね～。」と期待を持っていた子どもたち。家庭からペットボトルを用意していただき自分だけのじょうろを作りました。「根っこさんがお水大好きなんだよ」と伝えると丁寧に根元に水を上げたり、野菜の生長や様々な虫に驚いたりと発見がたくさん!子どもたちにとって畑が楽しい場所になりました。

5月下旬にはさつまいものつるさし、玉ねぎやじゃがいもの収穫、6月下旬には次々ときゅうりやピーマン、なすを収穫し、育てた夏野菜が給食に出ると「やった!」と大喜び。収穫した野菜を友だちと一緒に食べるとより美味しく感じますね。

今後も様々な食物に興味を持ち、育てた野菜を食べる喜びや、友だちと一緒にクッキングを行う楽しさを味わいながら食育に繋げていきたいと思います。

「春の叙勲」おめでとうございます

園長 森田 未歩

令和4年春の叙勲で長尾学舎に勤務する岡田シゲ子先生が、長年における児童福祉功労を認められ、栄えある「瑞宝単光章」のご受勲をされました。誠におめでとうございます。今後益々の活躍を心からお祝い申しあげますとともに、後進の指導にその経験を活かせていただけるようお願いいたしました。

令和３年度の法人の経営状況

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）　単位：千円

賃貸対照表（令和４年3月31日）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	434,011	流動負債	87,587
現金預金	279,597	事業未払金	15,925
事業未収金	153,919	設備資金借入金（１年以内返済予定）	40,000
原材料	85	未払費用	906
立替金	337	職員預り金	0
仮払金	73	仮受金	54
固定資産	2,621,553	賞与引当金	30,700
基本財産	1,949,314	固定負債	400,806
土地	401,182	設備資金借入金	320,000
建物	1,548,132	退職給与引当金	80,806
その他の固定資産	672,234	負債の部合計	488,393
土地	41,000		
構築物	136,423	純資産の部	
機械及び装置	28,095	基本金	166,000
車輌運搬具	6,075	国庫補助金等特別積立金	776,486
器具及び備品	83,889	その他の積立金	283,508
ソフトウェア	12,439	施設整備特別積立金	10,000
退職給付金引当資産	34,388	人件費積立金	10,000
施設整備特別積立資産	10,000	修繕積立金	20,000
人件費積立資産	10,000	備品等購入積立金	20,000
修繕費積立資産	20,000	減価償却積立金	223,508
備品等購入積立資産	20,000	次期繰越活動増減差額	1,341,176
減価償却積立資産	223,508	（うち当期活動増減差額）	36,269
退職積立資産	46,417	純資産の部合計	2,567,171
資金の部合計	3,055,565	負債・純資産の部合計	3,055,565

法人単位の資金収支の状況

科目	金額
(1)事業活動資金収支差額	93,933
①事業活動収入	1,295,701
介護報酬、支援費収入、利用者負担金収入、その他収入など	
②事業活動支出	1,201,768
人件費支出、事業費支出、その他支出など	
(2)施設整備等資金収支差額	-95,031
①施設整備等収入	
施設整備等補助金収入、設備資金借入金収入	1,601
②施設整備等支出	
設備資金借入金元金償還金支出、固定資産取得支出	96,632
(3)その他の活動収支金収支差額	-11,796
①その他の活動収支	
積立資産取崩収入、事業区分間長期借入等	2,338
②その他の活動支出	
積立資金積立支出、事業区分間長期貸付等	14,135
当期末資金収支差額	-12,894
当期末支払資金残高	417,039

法人単位の事業活動の状況

科目	金額
(1)サービス活動増減差額	23,002
①サービス活動収益	1,281,229
②サービス活動費用	1,258,226
(2)サービス活動外増減差額	13,266
①サービス活動収益	27,885
②サービス活動費用	14,618
(3)特別増減差額	0
①特別収益	1,601
②特別費用	1,601
当期活動増減差額	36,269
前期繰越活動増減差額	1,318,320
当期末繰越活動増減差額	1,354,589
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	13,412
次期繰越活動増減差額	1,341,176

ご支援ありがとうございました

なの花薬局様
徳武産業様
松岡則良様
株式会社禾様

小さい園児たちが遊べる遊具が仲間入りしました

くりの木学舎と長尾学舎の園庭に、1，2歳の小さい園児が遊べる遊具がやってきました。トンネルやすべり台など、可愛い仕掛けが盛りだくさん！からだをいっぱい動かして子どもたちと戸外遊びを楽しんでいます。

編集後記

ひと雨ごとに空が高く感じられるようになり、秋の気配が色濃くなってきました。今の世の中、辛いこと、苦しいこと色々ありますが「明けない夜はない」という言葉を信じて進むのみです。上を向いて歩こう！

（亀鶴　寺島）

発行●社会福祉法人 長尾福祉会　発行者●森田 浩之
ホームページURL https://nagaofukushikai.jp
法人本部●さぬき市昭和1032／TEL 0879−52−1727／FAX 0879−52−1728